

## 岡本の国会での答弁

177-衆-文部科学委員会-12号 平成23年05月25日

○遠藤(利)委員 今、大変わかりやすく御説明いただきましたが、そこはまだ多くの皆さん方に理解されていない。どちらかというと、どうもまだまだ、体育というものがあって、その中に遊びのスポーツがある、そんなとらえ方が多いのではないだろうか。

しかし、そうではなくて、むしろ、スポーツがあって、そしてその中に、スポーツを通じて、あるいはスポーツを用いて教育をする、これが体育だと今おっしゃられたわけですが、まさにそうしたことをもう一回整理して、私たちは皆さんに納得をしていただかなきゃならないのかなと思っております。

ちょっと順番を変えて申しわけないんですが、今、せっかく岡本政務官がお忙しい中いらっやいましたので。

先ほど、障害者のスポーツという話をさせていただきました。政務官、今度二〇一二年にロンドン・オリンピックがありますが、ロンドン・オリンピックの組織委員会の正式な名称を御存じですか。これは通告していませんから、わからなくても結構です。

○岡本大臣政務官 パラリンピックの組織委員会の正式名称ですか、それともオリンピックの方の……(遠藤(利)委員「一体として」と呼ぶ)一体としては存じておりません。

○遠藤(利)委員 例えば東京オリンピックですと、東京オリンピックの招致は東京オリンピック・パラリンピック招致委員会なんです。ロンドン・オリンピックも、ロンドン・オリンピック・パラリンピック組織委員会になります。ですから、世界各国、もう既に、オリンピックもパラリンピックも一緒になって運営をする。

私、何年か前にシドニーに行って、シドニー・オリンピックの会場とその周りのモニュメントを見てきたんです。例えば、百メートルあって、何秒で走る選手と、そして障害を持った選手はこれだけです、三段跳びでしたら、選手はこれだけの距離、そして障害を持っている人はこれだけの距離、棒高跳びはこうです、そういうようなモニュメントがあって、まさに同じ扱いをされている。

実は、日本は役所が違って、オリンピックは文部科学省、パラリンピックは厚生労働省というふうなことになるわけですが、私はもう既に、オリンピックもパラリンピックも同じ組織、同じ役所の中で一体となって考えていいのではないだろうか、ずっとこんな提案をさせていただきました。もちろん、障害を持っている人でも医療行為がある人は、これはなかなかそういうわけにいかないのかなと思います。この区切りはなかなか難しいんだと思いますが。

実は、いろいろな議論をしたときに、文部科学省だけでなく、スポーツというのは、文部科学省で担う部分、そして、障害者のスポーツあるいは健康は厚生労働省、スポーツビジネスは経済産業省、施設を一番多くつくっているのは国土交通省、それぞれの役所が必要なものですから、これの一つにして考えていったらどうだろうと。

いずれスポーツ庁なんという議論のときには、そうした議論をしなきゃならないと思うんですが、とりあえずこのオリンピックとパラリンピックを同じ組織の中でもうやっていくよ、もう縄張りを超えて我々は同じ組織になりますよ、そんな考え方を、政務官、これは役所じゃなくて政治家としてどういふふうにお考えか、お答えいただきたいと思っております。

○岡本大臣政務官 遠藤先生が大変スポーツの振興、とりわけ障害者スポーツについてもこれまでさまざまなお取り組みをされていて、特に自民党においてのスポーツの振興にかかわる取り組みをされていることに敬意を表する次第であります。

今御指摘になりました行政組織のあり方というのは、なかなか正直難しいものがあるというの

一方でありまして、確かに、スポーツという観点、健康増進という観点で見るか、それとも障害者福祉の政策として見るか、いろいろな見方があると思います。

そういう中で、これからスポーツに関する新しい立法をしていこうという観点の中で御議論いただくんだろうと思いますが、正直申し上げまして、課題が幾つかあるのかなというような思いは持っております。

○遠藤(利)委員 実は、パラリンピック、障害者スポーツ連盟ですか、協会だったか、北郷会長とお会いしたときに、一緒にどうですか、いやいや、もう我々は同じ方がいいと思いますよと、厚生労働省の保険庁長官もされた方だと思いますが、そんな話をかつてされておられました。

難しいのはよくわかっているんですが、場合によってはスポーツ庁をつくるときということになるかもしれませんが、ぜひそうしたことを御検討いただきたいということと同時に、健康も実は運動と一体です。

厚生労働省が定めた二十一世紀における国民健康づくり運動、これに九つの分野を指定しておりますが、一番目に栄養・食生活、二番目に身体活動・運動と出てきます。そうすると、どこまでが医療でどこまでが健康で、そのすみ分けがどこかで、スポーツ庁をつくるときあるいはそれ以前かもしれませんが、必要になってくるんだろうと思います。

そこら辺、健康について、ぜひこれもお考えいただきたいと思いますが、政務官いかがでしょうか。

○岡本大臣政務官 御指摘のとおり、本当に健全な心身のあり方というのは、スポーツを含む体づくりも含まれるというふうに考えておりますので、またそういった、これからスポーツ庁の議論が始まる折には、先生を含めて皆さんの御意見を賜りながら、私も誠心誠意取り組ませていただきたいと思いますと思っております。